

お魚救出大作戦

令和元年12月19日(木)

～三日町護岸工事現場にて、職員・業者による共同作業&調査～

【参加者】
職員 6名
福美建設(株) 7名
河川アドバイザー 1名

天竜川の箕輪町新箕輪橋の下流にて、護岸工事を鋭意施工中です。(工期は、令和2年の5月8日まで)
護岸工事を行うには、仮締め切りの施工を設置し、現場内に水が無いような状況にして、護岸の設置作業を行います。仮締め切りを設置すると、その内側には池のような水たまりができます。

現場にて、水たまりを見てみると、たくさんの魚が取り残されているのを発見しました。何とか救出したいと考え、作戦を決行しました。

職員・施工業者・河川アドバイザー合計14名にて、約3時間の作業で、1,000匹以上、11種以上の魚を救出することができました。
(救出した魚種:ウグイ、フナ、コイ、オイカワ、カマツカ、カワヨシノボリ、ニゴイ、アカザ、ヌマチチブ、ナマズ、ウナギなど)



ポンプにて水位を下げている状況



取り残された大量の魚



作業・調査は、河川アドバイザー
大原先生の指導を受けて行いました。

救出状況(投網にて捕獲)



外来種は、駆除
(コクチバス6匹、ブルーギル13匹)



魚種・数を計測



工事現場の全景

仮締め切りにより魚が取り残されている状況



救出状況(たもにて捕獲)



本川へ放流